

働く

ってどういうこと?



その昔、全国各地におもむき、いろいろな商いをする近江の人たちがいました。かれらはその土地土地にかかわり、商売を通して、自分も、相手も、その社会も豊かにしていったのです。その考え方を「三方よし」ということばで伝えています。

自分もよい 相手もよい そして社会もよい

「三方よし」とは「自分よし、相手よし、世間よし」。つまり自分ばかりではなく、相手、そして社会までもが仕事を通してよくならなければならない、というものです。この教えは「働く」ということの、本当の意味を示しているのかもしれない。



働くということは
自分のために
だけではない

 働くことをわたしはこう考える



石油流出でよごれた海岸で



外国で農業技術を伝える

写真：今村健志朗/JICA

だれか困っている人がいたら
もし助けを求めている人がいたら
なんとかしよう、なんとかしたいと思うのが
人間の気持ち。

社会の役に立とうとする心

わたしたちの力はわずかかもしれないが
きっとだれかの役に立てるはず。
だから考えてみよう
わたしたちにできることを。
社会へのほう仕やボランティア活動
すべての人の幸福のために、社会をよりよくするために
役に立つことを。

ごみがいっぱいあるね



災害のときのひなん所で



多くの人が社会のために



あなたにもできる 社会のためになることが

社会のために自分たちにできることって言われても…
そんなあなたにこんな活動のヒントがあります。かんたんなことから始めてみてはどうだろう。
社会や集団のためになる仕事や活動は、あなた自身がそこからいろいろなことを学ぶことが
でき、よりよい自分づくりの場となる。

集める

ほ金・バザー・古切手集めなど

ふれあひ

施設訪問・交流給食
スポーツ交流・文通など

伝える

新聞づくり・ポスターづくり・PR活動など

作る

再生紙づくり・ぞうきんづくりなど

手伝う

からだの不自由な人のための介助活動など

守る

リサイクル・動植物愛護・花いっぱい活動など

わたしたちが、社会のためにできること、したいことにどんなことがあるだろう。

ちょっとしたボランティア。社会に

役立つことを通して自分も成長できる。